

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

- (1) 調査の目的 児童生徒の学力・学習状況の把握と学習指導の改善を図る。
- (2) 調査対象 土岐市内全小学校8校の第6学年児童（466人）
土岐市内全中学校6校の第3学年生徒（466人）
- (3) 調査内容 学力に関する調査（国語、算数・数学、理科）、生活と学習に関する調査
- (4) 調査日 令和4年4月19日（火）

2 土岐市の現状

(1) 学力について

*全国の正答率と市の正答率の比較と問題内容を踏まえた考察

<小学校>

国語	話す・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項
	○	○	□	□	□
算数	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
	○	□	□	□	
理科	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	
	○	□	○	□	

(◎：上回っている ○：ほぼ同じ □：下回っている)

- ・国語は、全国平均を下回っている。「文章の構成や展開について感想や意見を伝え合うことを通して自分の文章のよさを見つける」ことや、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」ことに課題がある。
- ・算数は、全国平均を下回っている。「表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求める」ことや、「加法と情報の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述する」ことに課題がある。
- ・理科は、全国平均をやや下回っている。「メスシリンダーという器具を理解する」ことや、「自分で発想した実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつ」ことに課題がある。

<中学校>

国語	話す・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項
	□	○	□	□	○	○
数学	数と式	図形	関数	データの活用		
	○	□	○	□		
理科	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域		
	○	○	○	○		

(◎：上回っている ○：ほぼ同じ □：下回っている)

- ・国語は、全国平均を下回っている。「表現の技法について理解する」ことや、「文脈に即して漢字を正しく書く」こと、「行書の特徴を理解する」ことに課題がある。
- ・数学は、全国平均を下回っている。「自然数を素数の積で表す」ことは全国平均を大きく上回っているが、「箱ひげ図から分布の特徴を読み取る」ことや、「反例の意味を理解する」ことに課題がある。
- ・理科は、全国平均とほぼ同じである。「力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる」ことや、「地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながらルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる」ことに課題がある。

(2) 学習や生活に関する習慣と意識について

※ 全国平均より意識が高い質問項目（抜粋）

<小学校>

- 26：読書は好きですか。
- 29：今住んでいる地域の行事に参加している。
- 32：5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した。
- 33：学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている。
(インターネット検索など)
- 34：学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている。
- 35：学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている。
- 46：あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 47：学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 61：理科の勉強は好きだ。
- 62：理科の授業は大切だ。
- 63：理科の授業の内容はよく分かる。

- ・全体的に、全国平均を下回る項目が多い。
- ・地域の行事に参加している児童が多いが、地域や社会への貢献については全国平均を下回っている。
- ・学校でも家庭でも、ICT機器を学習に活用している。(どの項目も全国平均を大きく上回っている。)
- ・継続的に家庭学習に取り組んでいる児童が多いが、自分で計画的に取り組むことについては課題がある。
- ・自己肯定感に関する質問については、どの項目も全国平均を下回っている。
- ・授業では、主体的に取り組むことはできているが、仲間との対話を通して自分の考えを深めたり広げたりすることに課題がある。
- ・学習したことが将来役に立つことはほぼ理解しているが、国語と算数の学習への意欲や学習内容に関する質問については、全国平均を下回っている。

<中学校>

- 8：先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- 11：難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。
- 14：困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 21：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をしている。
- 29：今住んでいる地域の行事に参加している。
- 30：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- 32：1.2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した。
- 33：学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている。
(インターネット検索など)
- 34：学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている。
- 35：学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている。
- 39：授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 40：授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- 47：学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 53：数学の勉強は好きだ。
- 54：数学の勉強は大切だ。
- 55：数学の授業の内容はよく分かる。
- 56：数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。
- 58：数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。
- 61：理科の勉強は好きだ。
- 62：理科の授業は大切だ。
- 63：理科の授業の内容はよく分かる。
- 67：理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。

- ・全体的に、全国平均を上回る質問項目が多い。
- ・地域の行事に参加している生徒が多く、地域や社会への貢献についても全国平均を上回っている。
- ・将来の夢や目標を持っている生徒は、全国平均を下回っているが、自己肯定感に関する質問項目については、全国平均とほぼ同等である。
- ・学校でも家庭でも、ICT機器を学習に活用している。(どの項目も全国平均を大きく上回っている。)
- ・教科の授業や学級活動に主体的に取り組み、仲間との対話を通して、自分の考えを深めたり広げたりできている。
- ・数学、理科の学習に関しては、全ての項目において全国平均を上回り、授業の内容を理解していると感じている生徒が多い。

3 今後に向けて

土岐市の学力を高める基盤

- 生活習慣において
 - ・基本的な生活習慣の定着
 - ・社会参加、社会貢献に対する意識の高さ
- 授業について
 - ・学習規律の確立
 - ・最後まであきらめず、積極的に取り組もうとする意欲
 - ・専科や少人数による指導や補充的な学習
- 家庭学習について
 - ・予習復習など、家庭学習の時間の確保

土岐市の学力をさらに高めるための方策

- 授業について
 - ・子どもの主体性を大切に、一人一人が「できた」「分かった」と実感できる学習指導の充実
 - ・既習内容を活用し、根拠をもとに筋道立てて考えたり伝えたりする力を付ける指導援助の工夫
 - ・ICT機器を効果的に活用した授業の推進
 - ・自分の考えを書く活動の位置づけ。
 - ・反復練習など、個の実態に応じた支援の工夫
- 家庭学習について
 - ・個の実態に応じた家庭学習の取組の推進
(学習内容や方法、保護者への働きかけ)
 - ・図書や新聞の活用、読書活動のさらなる充実